

眞言秘密の呪文だ。

此の呪文を幾らでも分解して引きのべる事も出来れば、まつと短くちよめる事も出来る。

算盤に熟達し、字引をめくる事が迅速になれば、千枚位の小説は數時間でわけなく拵へる事が可能だ。

僕は蛇の花と言ふ通俗的な題で、此の新らしい方法で以て一つ書いて見様と決心したりした。

義母が、

『此の頃は夜中に巡查さんが起きて、あんたを調べよられるから、おとなしくしてゐなさい、二三日辛抱したら出して貰へるから』と言つた。

僕は芝を呼んで来て呉れと、義母に言つた。

芝は羊羹を澤山持つて来てくれた。

『君を大阪の病院に入れると言ふて、此處から出す事を、君のファザーも骨を折つて居られるか